



比内公民館だより

2025 No.95

ひな

い 8月

発行/大館市立比内公民館 大館市比内町扇田字庚申岱8 Tel 43-7141 fax 55-3652

分館対抗スポーツ大会 7月6日(日)

本年度の分館対抗スポーツ大会は、7月6日(日)に開催しました。少し天候が心配されましたが、達子森野球場の野球には5チーム、比内体育館のソフトバレーには4チーム、ユニカールには12チーム、比内グラウンドのグラウンドゴルフには8チームが参加し、合計204人の選手たちが熱戦を展開しました。

大会の運営には、大館市野球協会比内支部、比内中学校野球部7名(ボランティア)、大館北秋田ソフトバレーボール連盟、大館市ユニカール協会比内支部、比内町グラウンドゴルフ協会の皆様にご尽力いただきました。ありがとうございました。

各種目の結果は以下の通り

【野球の部】

優勝：東館分館 準優勝：西館分館

【ソフトバレーの部】

優勝：扇田分館 A 準優勝：東館分館

第3位：三岳分館

【グラウンドゴルフの部】

優勝：扇田分館 B 準優勝：扇田分館 A

第3位：味噌内分館

【ユニカールの部】

優勝：扇田分館 準優勝：西館分館 B

第3位：東館分館 A

分館対抗が「球技大会」から「スポーツ大会」に変わったように、時代に合わせてその中身は変わっていく必要があります。新しい種目の導入やルールなど、できるだけ多くの方が参加して楽しめる内容に進化できればと思います。「変わることは良いことだ」を合言葉に、今後の大会を考えてまいりたいと思います。





比内あおぞら学園

7月 17 日(木)

第 3 回教養講座

「マタギライフと次世代の

山村コミュニティについて」

大阿仁公民館館長 益田 光 氏

広島出身の益田氏は、東京農大で植物の研究に取り組み、四季の美しさにひかれ、なおかつマタギの世界に魅了されて北秋田市阿仁地区に移住。地元で歓迎されて地区の公民館長も務めている。マタギの師匠に弟子入りし、本格的にマタギのしきたりや作法を学び、山からの授かりもの（動植物や山菜など）を得ながらの生活を実践しているという。

最近急速に増えているシカやイノシシが山や人の生活に与える影響についても、様々な研究機関から調査の協力を求められているという。



後半は、みんなの関心が高いクマの話題。マタギは狩猟を中心とした集団で、山からの様々な授かりものを得て暮らしている。中でもクマは最大の獲物で、授かると昔からの作法で、クマを均等に分けるという。

発信機を使った調査の結果によると、阿仁のクマとほかのアーバンベアでは移動の傾向は大きく違うようである。阿仁では身近なところにクマの存在があり、地元の人たちはクマの通り道や出没時間など、熟知しているため事故が少ないのではないだろうか。

クマは食べ物への執着が強いので、秋に実のなる里の樹木は、切るなどの対策が必要である。爆竹を鳴らすと驚いて逃げるが、好奇心でまた戻ってくる。追い払うには、爆音と人間の存在を合わせてクマに印象付ける必要があるという。

スナップ

八木橋分館さなぶり運動会 6月 29 日(日)



玉入れ



スプーンリレー



チューブくぐり

八木橋分館のさなぶり運動会が、6月29日（日）、分館の体育館で開催されました。昔懐かしい「さなぶり」を冠した運動会は、いつの頃からか屋内開催が定着し、雨天を心配することなくなりました。プログラムにも工夫が凝らされ、誰でも参加できるメニューが盛りだくさん。極めつけは「チューブくぐり」で、足を結んだ5人の端から順にチューブをくぐり、折り返して戻ってくるもの。チューブがきつくて大変ですが、まわりの観客からは大きな声援が飛んでいました。

編集後記

先日、発熱を感じ、計ってみると39.0度！見たことのない体温に驚き、途端にめまいが……。とりあえず救急を受診し、処方された薬で熱は下がったものの、ここからが長かった。咳が止まず腹筋が痛くなるほど。咳で眠れなくなり体力が削られる。風邪のウィルスも昔より進化してたちが悪くなっているのだろうか？校了するころには全快しているかな？もちろんコロナは陰性でした。（若）